

# 2024年3月期 決算説明資料

---

2024年5月10日

東京計器株式会社 (証券コード 7721)



発表のポイント

1

2024年3月期 前期比 増収・増益

売上高	<b>47,166</b> 百万円	前期比	<b>2,870</b> 百万円増	
営業利益	<b>2,768</b> 百万円	前期比	<b>1,456</b> 百万円増	
営業利益率	<b>5.9%</b>	前期比	<b>2.9%</b> ポイント増	

2

2025年3月期 新3ヶ年中計の下、増収・増益を計画

売上高	<b>57,300</b> 百万円	当期比	<b>10,134</b> 百万円増	
営業利益	<b>3,560</b> 百万円	当期比	<b>792</b> 百万円増	
営業利益率	<b>6.2%</b>	当期比	<b>0.3%</b> ポイント増	

3

年間配当 成長投資を優先しつつ、安定・継続的な株主還元

2024年3月期		2025年3月期
<b>32.50</b> 円		<b>35.00</b> 円
(期初予定通り)	普通配当 2.5円増配	

## 資料の内容

---

### 1. 2024年3月期 決算概要

### 2. 2025年3月期 計画

#### <ご参考資料>

- 業績推移
- 事業紹介

## 売上高・損益

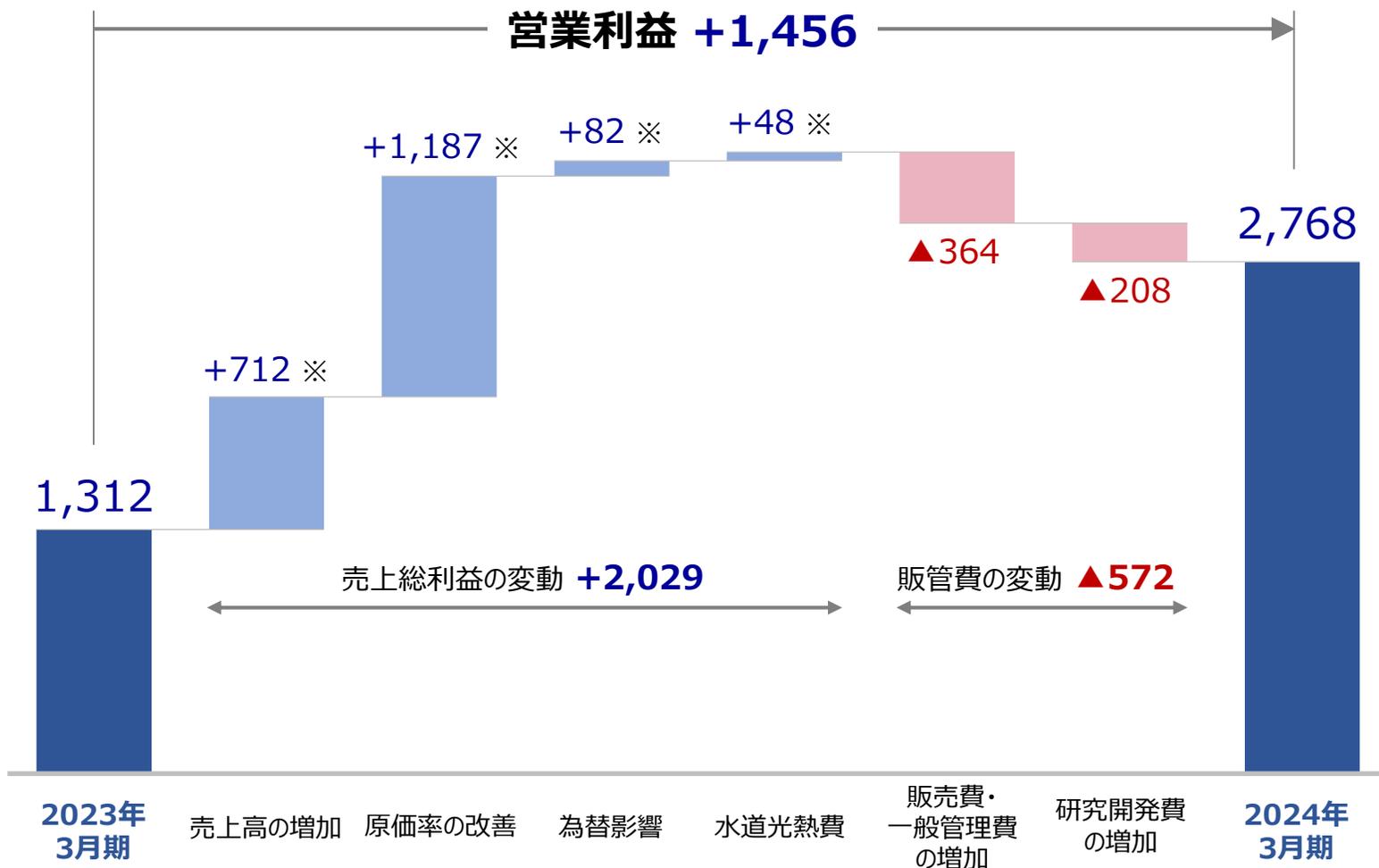
単位：百万円	2023年 3月期	2024年 3月期	増減額	増減率	2024年2月9日発表		
					予想	増減額	増減率
売上高	44,296	<b>47,166</b>	+2,870	+6.5%	46,700	+466	+1.0%
営業利益	1,312	<b>2,768</b>	+1,456	+111.0%	2,080	+688	+33.1%
経常利益	1,687	<b>2,990</b>	+1,303	+77.2%	2,270	+720	+31.7%
親会社株主に帰 属する当期純利益	873	<b>2,277</b>	+1,404	+160.9%	1,670	+607	+36.3%
売上高 営業利益率	3.0%	<b>5.9%</b>	+2.9%pt				
為替レート (対USDドル)	135.49円	<b>144.32円</b>					

- 前期比で増収・増益。
- 船舶港湾機器事業、防衛・通信機器事業が増収に貢献。
- 油空圧機器事業をはじめとした販売価格の適正化や製品構成の変化により、原価率が改善したため、全ての利益項目で大幅な増益。

## 営業利益増減

単位：百万円

※推計値



販売費及び一般管理費が増加したものの、販売価格の適正化や製品構成の変化により原価率が改善し、大幅増益。

## セグメント別売上高・損益

単位：百万円		2023年 3月期 実績	2024年 3月期 実績	増減額	増減率	2024年2月9日発表			概況
						予想	増減額	増減率	
船舶港湾 機器	売上高	9,700	<b>11,016</b>	+1,316	+13.6%	11,100	▲84	▲0.8%	海外市場及び保守サービスの好調に加え、 為替の円安推移により増収・増益。
	営業利益	565	<b>1,006</b>	+441	+78.1%	1,000	+6	+0.6%	
油空圧機器	売上高	11,658	<b>11,675</b>	+18	+0.2%	11,500	+175	+1.5%	プラスチック加工機械市場や海外市場は低調に推移 したものの、油圧応用装置の納入が増加。 販売価格の適正化が進展し、黒字転換。
	営業利益	▲268	<b>273</b>	+541	-	230	+43	+18.7%	
流体機器	売上高	4,452	<b>4,772</b>	+320	+7.2%	4,600	+172	+3.7%	官需市場が堅調に推移。 また、消火設備市場の需要が好調に推移したため、 増収・増益。
	営業利益	527	<b>733</b>	+206	+39.1%	610	+123	+20.2%	
防衛・ 通信機器	売上高	14,765	<b>16,185</b>	+1,420	+9.6%	16,000	+185	+1.2%	艦艇搭載機器が好調に推移したほか、海上保安庁 向け新製品の納入、及び製品構成の変化により 増収・増益。
	営業利益	▲94	<b>362</b>	+456	-	10	+352	+3,520.0%	
その他	売上高	3,718	<b>3,517</b>	▲201	▲5.4%	3,500	+17	+0.5%	鉄道機器事業において、主力の超音波レール探傷車 の販売減により、減収・減益。
	営業利益	675	<b>502</b>	▲173	▲25.6%	340	+162	+47.6%	
合計	売上高	44,296	<b>47,166</b>	+2,870	+6.5%	46,700	+466	+1.0%	
	営業利益	1,312	<b>2,768</b>	+1,456	+111.0%	2,080	+688	+33.1%	

(セグメントの売上高、営業利益は調整前)

## 受注の状況

単位:百万円	2024年3月期 受注高				2024年3月期末 受注残高				概況
	前期	当期	増減額	増減率	前期	当期	増減額	増減率	
船舶港湾機器	10,516	11,268	+752	+7.1%	4,164	4,416	+252	+6.0%	国内の新造船で仕入れ商品が増加。
油空圧機器	11,836	11,635	▲201	▲1.7%	3,439	3,399	▲40	▲1.2%	海外向けが回復傾向にあるものの、プラスチック加工機械向けが低調に推移したため、受注高・受注残高ともに前期並み。
流体機器	4,892	4,700	▲192	▲3.9%	1,593	1,521	▲72	▲4.5%	官需市場・民需市場において大型案件が減少。
防衛・通信機器	20,259	27,566	+7,307	+36.1%	22,269	33,651	+11,382	+51.1%	防衛予算の増加により、受注高・受注残高ともに過去最高値を更新。
その他	3,771	3,759	▲13	▲0.3%	1,550	1,733	+183	+11.8%	鉄道機器事業における探傷車受注が堅調に推移したため、受注残高が増加。
合計	51,276	58,929	+7,653	+14.9%	33,015	44,720	+11,705	+35.5%	

## 経営指標

資本収益性	単位	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期
ROE (自己資本利益率)	%	4.9	3.1	4.6	2.7	6.5
ROA (総資産経常利益率)	%	3.6	2.7	3.5	3.0	4.8
株主資本コスト	%	6.6	6.7	6.1	7.8	8.1

## 一株当たり情報

EPS (一株当たり利益)	円	86.76	57.67	91.06	53.16	138.62
BPS (一株当たり純資産)	円	1,782.35	1,919.21	2,005.00	2,005.89	2,243.54

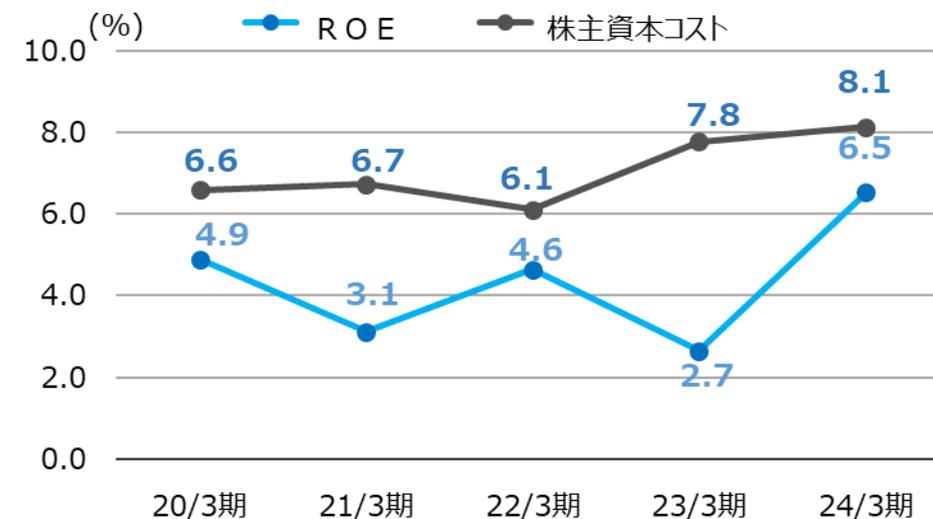
## 市場評価

期末株価	円	695	944	1,187	1,215	2,719
期末時価総額	億円	119	161	195	199	447
PER (株価収益率)	倍	8.01	16.37	13.03	22.85	19.61
PBR (株価純資産倍率)	倍	0.39	0.49	0.59	0.61	1.21

## 資本コストや株価を意識した経営の実現

- 当社の株主資本コストは6～8%と認識。
- ROEは2024年3月期は大きく上昇したが、依然として株主資本コストを上回っていない状況。
- 資本コストや株価をより意識した経営の実現に向け、収益性の向上を命題に掲げた新中期経営計画（2024-2026年度）を策定。

## 資本収益性



## 貸借対照表

単位：百万円	2023年3月期	2024年3月期	増減
<b>資産の部</b>			
流動資産	44,814	<b>50,863</b>	+6,049
固定資産	11,809	<b>16,115</b>	+4,306
資産合計	56,624	<b>66,978</b>	+10,354
<b>負債の部</b>			
流動負債	21,385	<b>21,781</b>	+395
固定負債	1,787	<b>7,828</b>	+6,041
負債合計	23,172	<b>29,609</b>	+6,437
<b>純資産の部</b>			
株主資本	31,104	<b>32,901</b>	+1,797
その他の包括利益累計額	1,822	<b>3,948</b>	+2,126
純資産合計	33,451	<b>37,369</b>	+3,917
<b>負債純資産合計</b>	56,624	<b>66,978</b>	+10,354

## 主な増加の要因

- 流動資産  
防衛事業の受注増に伴う仕入れの増加により棚卸資産が増加。
- 固定資産  
成長投資による有形固定資産が増加。また、株価の上昇に伴い、投資その他の資産が増加。
- 固定負債  
大幅な受注増に対応するため借入を実施し、長期借入金が増加。
- 自己資本比率は55.0%。  
引き続き財務健全性を維持。

## キャッシュ・フローの状況

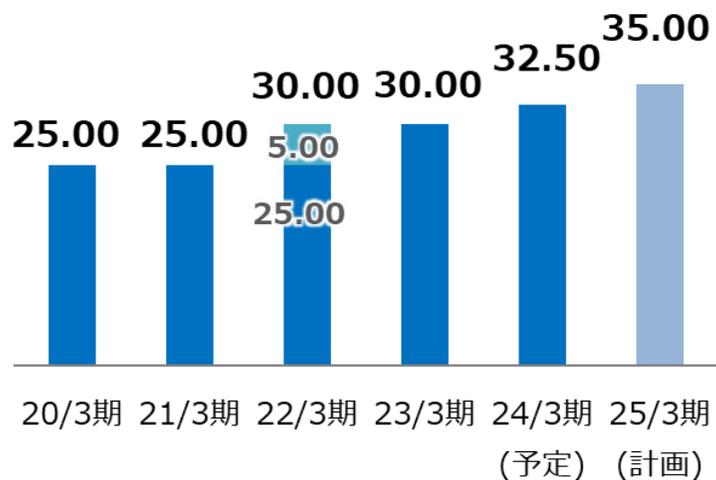
単位：百万円	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期
営業CF	2,915	7,068	2,256	▲2,829	<b>▲2,835</b>
投資CF	▲1,139	▲928	▲572	4	<b>▲2,373</b>
FCF	1,776	6,140	1,684	▲2,824	<b>▲5,209</b>
財務CF	▲3,456	▲2,247	▲1,120	▲780	<b>4,299</b>
現金及び現金同等物の 期末残高	7,709	11,588	12,208	8,671	<b>7,796</b>
減価償却費	1,230	1,128	1,073	1,035	<b>868</b>
棚卸資産	15,001	12,673	14,979	18,153	<b>22,905</b>

- 防衛事業をはじめとする受注増に伴う仕入れの増加や、有形固定資産への投資により、FCFが大きくマイナス。

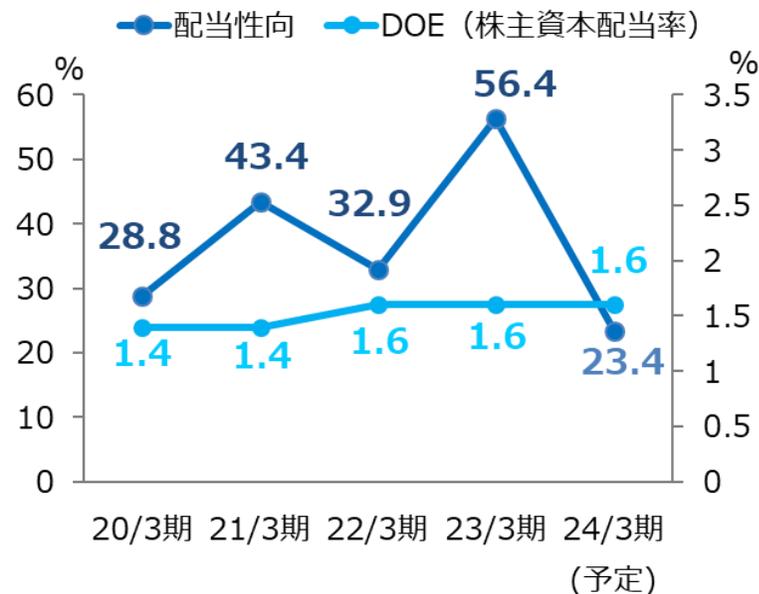
## 株主還元

### 配当金の推移

■ 年間配当金 ■ 記念配当  
単位：円



### 配当性向とDOEの推移



### 配当基本方針

- 「東京計器ビジョン2030」の実現による企業価値向上に向け、成長投資を最優先としつつ、財務基盤とのバランスを考慮しながら、最適資本構成を意識した最適な株主還元施策を実施する。
- 毎期の配当については、過去の配当実績も勘案し、安定的かつ継続的な株主還元をめぐる。

### 配当金

当期 **32.50円**  
次期 (2025年3月期) **35.00円**

※2000年度以降の過去最高を2期連続更新

### 株主優待

- 対象となる株主様の保有株式数に応じてポイントを贈呈。
- ポイントを株主様限定の特設ウェブサイト「東京計器プレミアム優待倶楽部」において、お好みの商品と交換。
- 詳細は株主様限定ウェブサイトでご確認ください。

<https://tokyokeiki.premium-yutaiclub.jp/>

## 資料の内容

---

1. 2024年3月期 決算概要

**2. 2025年3月期 計画**

〈ご参考資料〉

- 業績推移
- 事業紹介

## 外部環境リスクの状況

	発生事象	対象事業	対応	影響度
材料価格上昇	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内人件費増加による材料費への影響。</li> <li>電子部品等の値上がりによる材料費への影響。</li> <li>世界的インフレによる仕入れ価格への影響。</li> </ul>	✓ 全事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>顧客と販売価格の適正化交渉を継続。</li> <li>調達コストの低減。</li> </ul>	高
	<ul style="list-style-type: none"> <li>客先予算の圧迫による契約案件の先延ばし。</li> </ul>	✓ 流体	<ul style="list-style-type: none"> <li>契約案件のモニタリングを強化し、他案件での挽回。</li> </ul>	中
為替	<ul style="list-style-type: none"> <li>円安の継続。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 船舶港湾 (+)</li> <li>✓ 油空圧 (-)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>140円/\$にて計画。</li> <li>購入部品の値上りに警戒。</li> </ul>	中
中国経済	<ul style="list-style-type: none"> <li>経済減速による販売への影響。</li> <li>米中対立による輸出入規制等の影響。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 船舶港湾</li> <li>✓ 油空圧</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて、先行手配や代替品への切り替えを行う予定。</li> <li>高付加価値製品の拡販。</li> <li>他地域での拡販。</li> </ul>	中

## 2025年3月期 業績予想

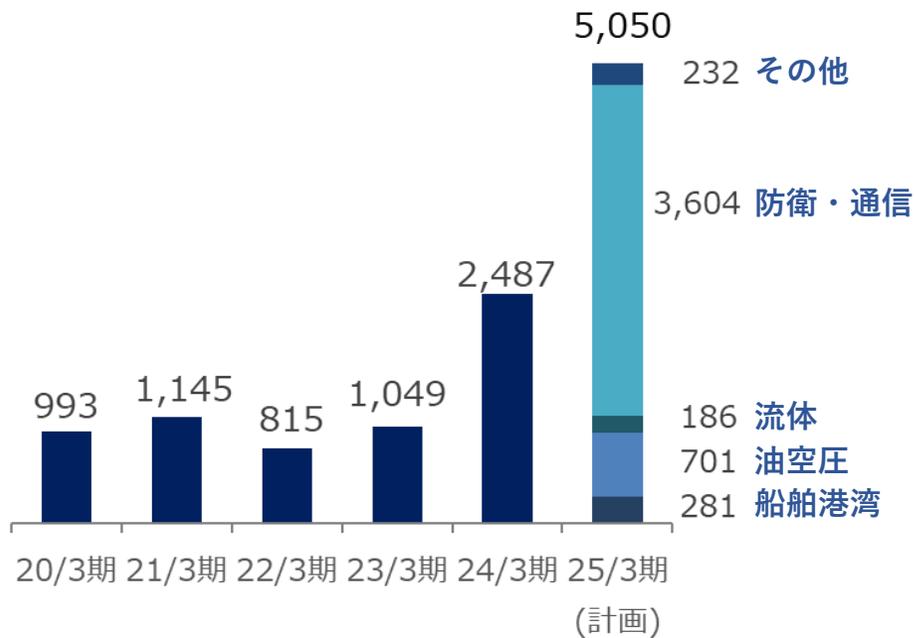
単位：百万円	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想	増減額	増減率
売上高	47,166	<b>57,300</b>	+10,134	+21.5%
営業利益	2,768	<b>3,560</b>	+792	+28.6%
経常利益	2,990	<b>3,780</b>	+790	+26.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,277	<b>2,850</b>	+573	+25.2%
売上高営業利益率	5.9%	<b>6.2%</b>	+0.3%pt	
為替レート (対USドル)	144.32円	<b>140.00円</b>		

- 高水準の受注残高を着実に売上に  
つなげることで、増収・増益を計画。

## 成長投資（設備投資額・研究開発費）

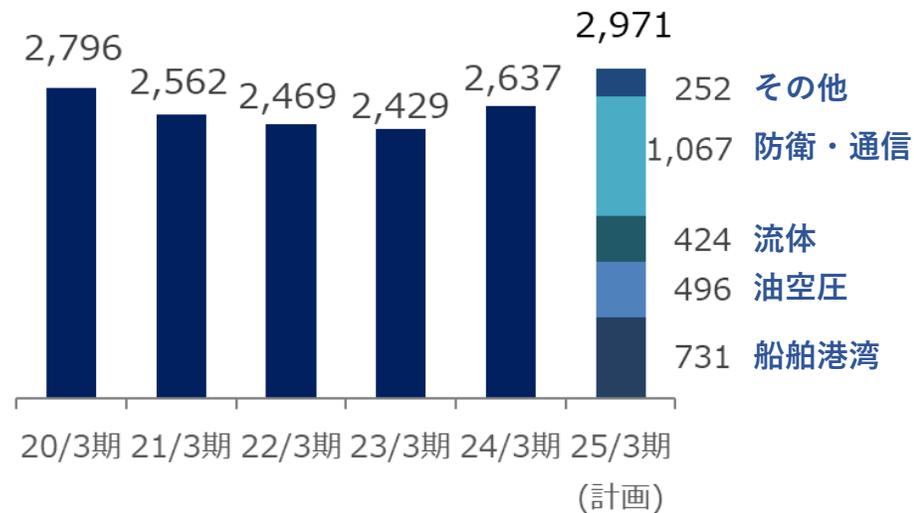
## 設備投資額

単位：百万円



## 研究開発費

単位：百万円



## ■ 設備投資額

防衛事業の受注増に対応するため、新工場棟（防衛管理棟）約15億円のほか、各種生産設備の更新及び増強を計画。

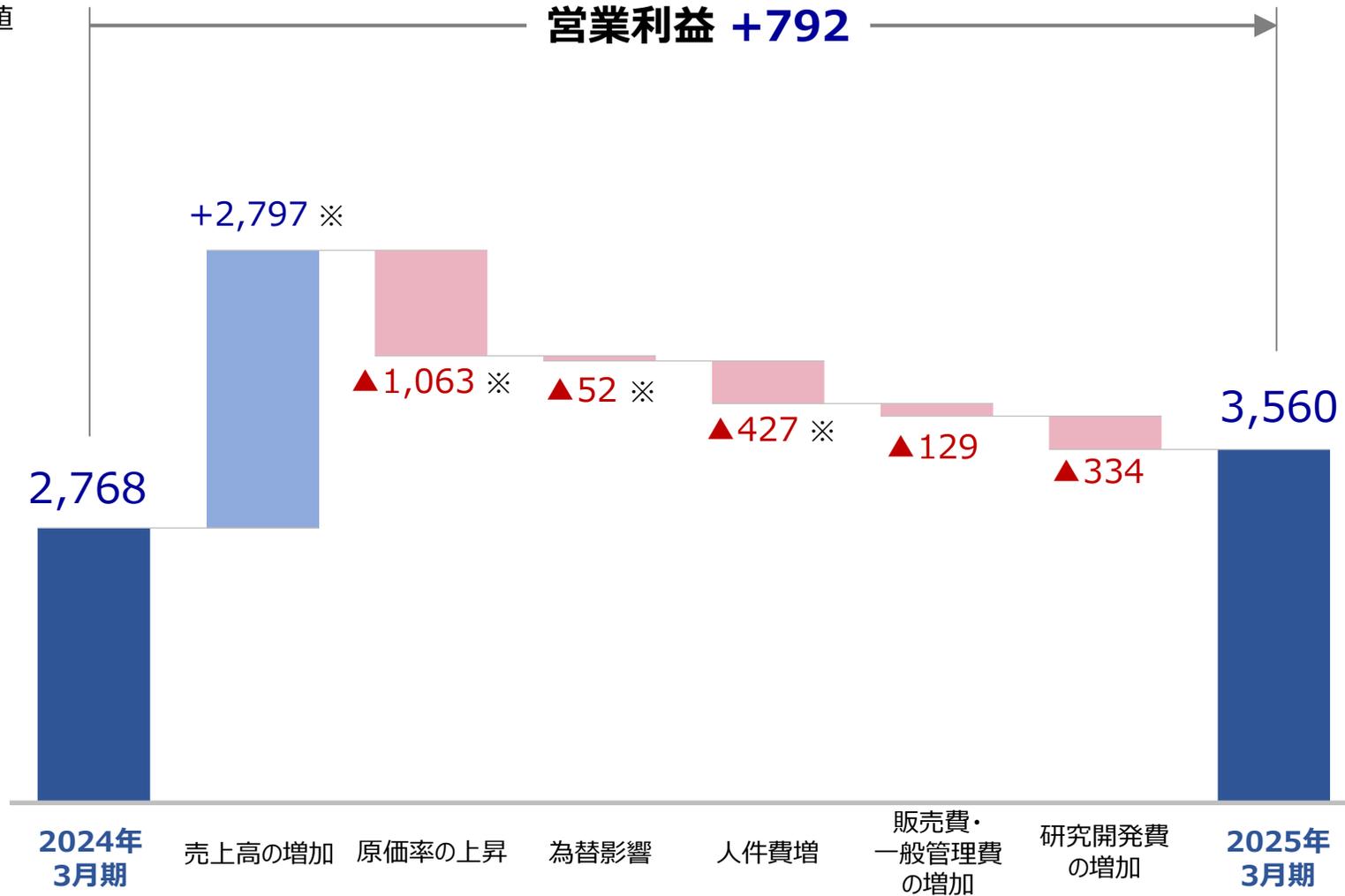
## ■ 研究開発費

宇宙、水素など成長ドライバーに係る製品開発のほか、自動運航船やジャイロ、マイクロ波などコア技術関連の新製品開発のための研究開発を計画。

## 営業利益増減

単位：百万円

※推計値



- 防衛事業の利益は、売上高の大幅な伸びに伴って増加する見込み。
- 相対的に原価率の高い防衛事業の売上高増加により、原価率は上昇。
- ベースアップにより人件費が増加。

## セグメント別業績予想

単位：百万円		2024年3月期 実績	2025年3月期 予想	増減額	増減率	見通し
船舶港湾機器	売上高	11,016	<b>11,400</b>	+384	+3.5%	東アジアの新造船需要や保守サービスが引き続き堅調に推移する見込みの一方、成長投資に伴う研究開発費の増加等により減益の見込み。
	営業利益	1,006	<b>810</b>	▲196	▲19.5%	
油空圧機器	売上高	11,675	<b>11,500</b>	▲175	▲1.5%	販売価格の適正化と生産性向上への取り組みにより増益の見込み。
	営業利益	273	<b>360</b>	+87	+31.9%	
流体機器	売上高	4,772	<b>4,900</b>	+128	+2.7%	研究開発投資や製品構成の変化により減益の見込み。
	営業利益	733	<b>610</b>	▲123	▲16.8%	
防衛・ 通信機器	売上高	16,185	<b>25,100</b>	+8,915	+55.1%	防衛予算拡大による防衛事業の大幅な増収により全体として増収・増益。
	営業利益	362	<b>1,350</b>	+988	+272.9%	
その他	売上高	3,517	<b>4,400</b>	+883	+25.1%	検査機器事業は新製品の投入、鉄道機器事業は主力の超音波レール探傷車の販売が増加することにより、増収・増益の見込み。
	営業利益	502	<b>540</b>	+38	+7.6%	
合計	売上高	47,166	<b>57,300</b>	+10,134	+21.5%	
	営業利益	2,768	<b>3,560</b>	+792	+28.6%	

## 資料の内容

---

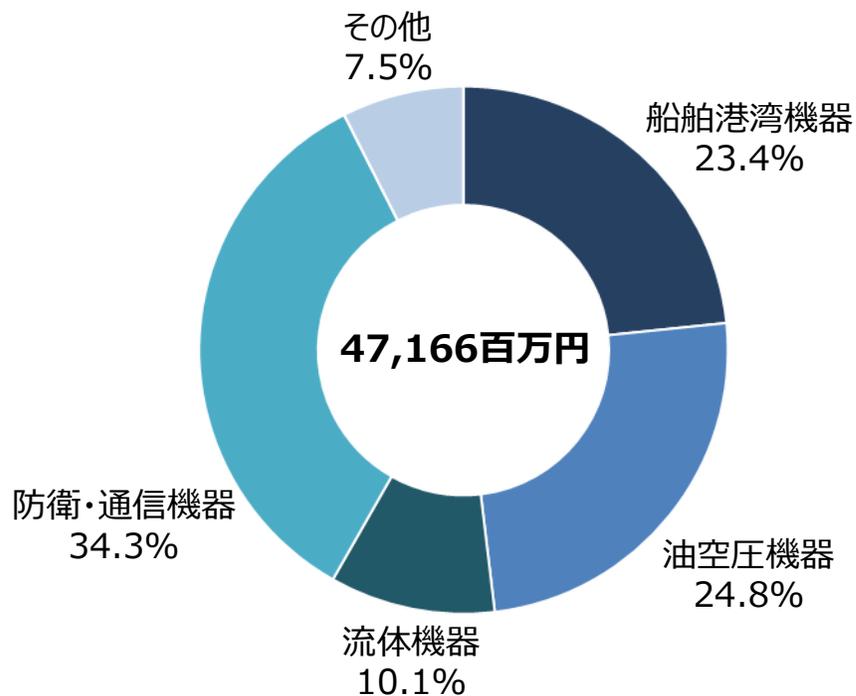
1. 2024年3月期 決算概要
2. 2025年3月期 計画

### <ご参考資料>

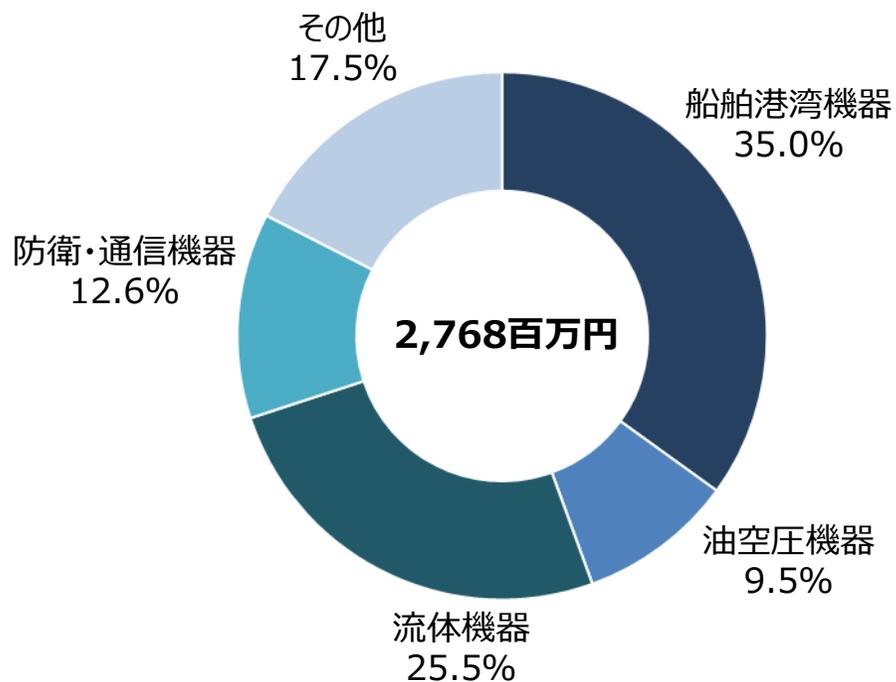
- 業績推移
- 事業紹介

# 2024年3月期 売上高・営業利益 セグメント比率

売上高



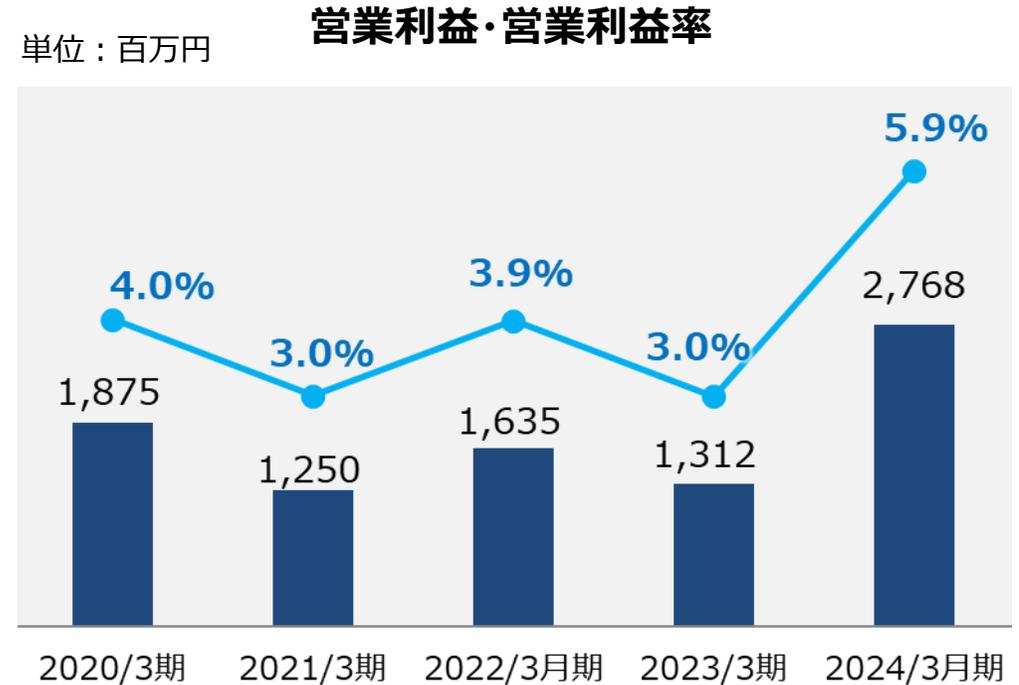
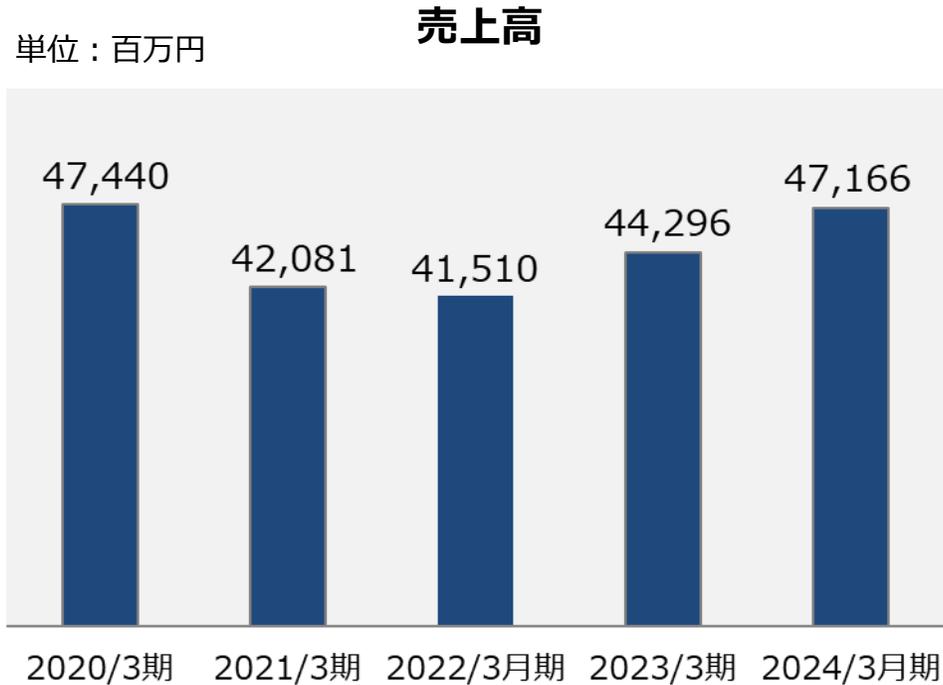
営業利益



事業特性

- 流体機器、防衛・通信機器、その他事業の鉄道機器は、事業の特性上、下期に売上・利益が偏重。
- 油空圧機器は、業績が景気に左右される。

## 売上高・営業利益推移

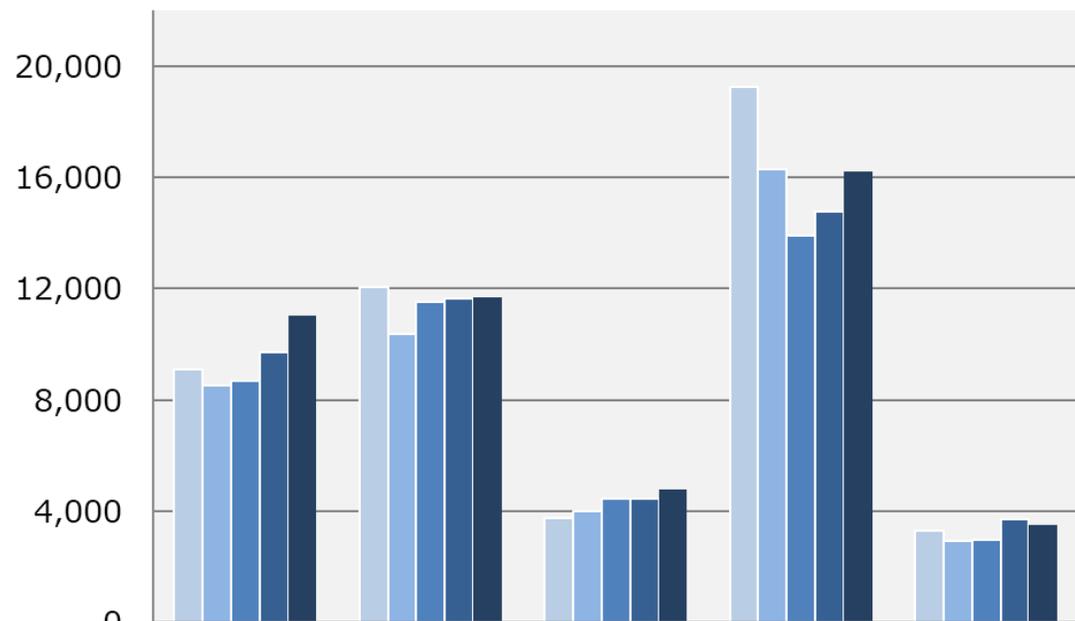


単位：百万円	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
売上高	47,440	42,081	41,510	44,296	<b>47,166</b>
営業利益	1,875	1,250	1,635	1,312	<b>2,768</b>
経常利益	2,011	1,458	1,926	1,687	<b>2,990</b>
当期純利益	1,425	945	1,493	873	<b>2,277</b>
営業利益率	4.0%	3.0%	3.9%	3.0%	<b>5.9%</b>

# セグメント別 売上高・営業利益推移

## 売上高

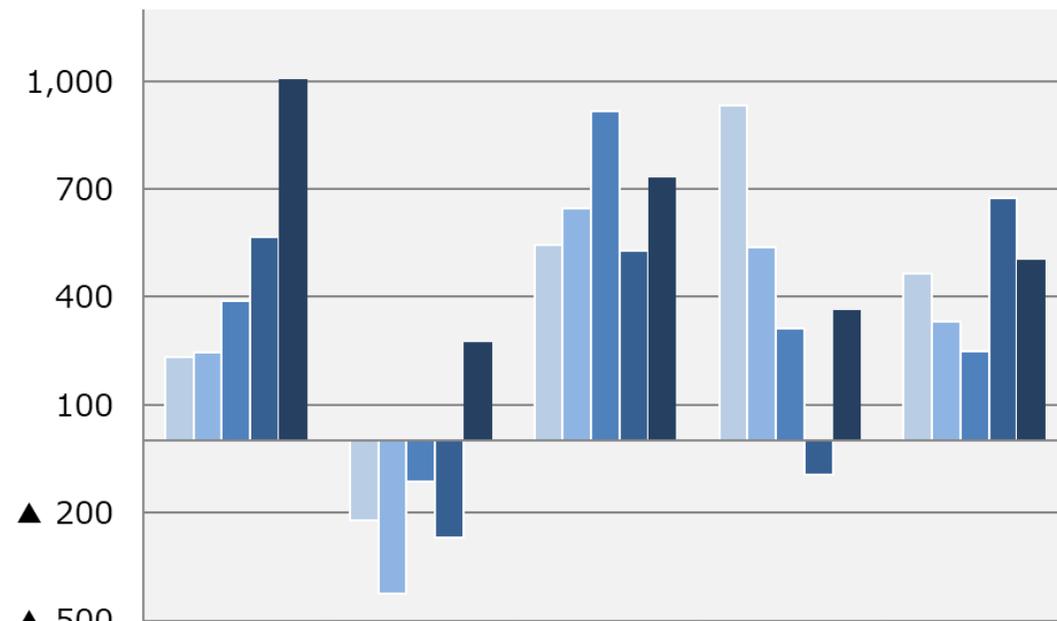
単位：百万円



	船舶港湾	油空圧	流体	防衛・通信	その他
20/3期	9,094	12,050	3,745	19,264	3,283
21/3期	8,522	10,351	4,003	16,281	2,924
22/3期	8,700	11,526	4,432	13,884	2,966
23/3期	9,700	11,658	4,452	14,765	3,718
24/3期	11,016	11,675	4,772	16,185	3,517

## 営業利益

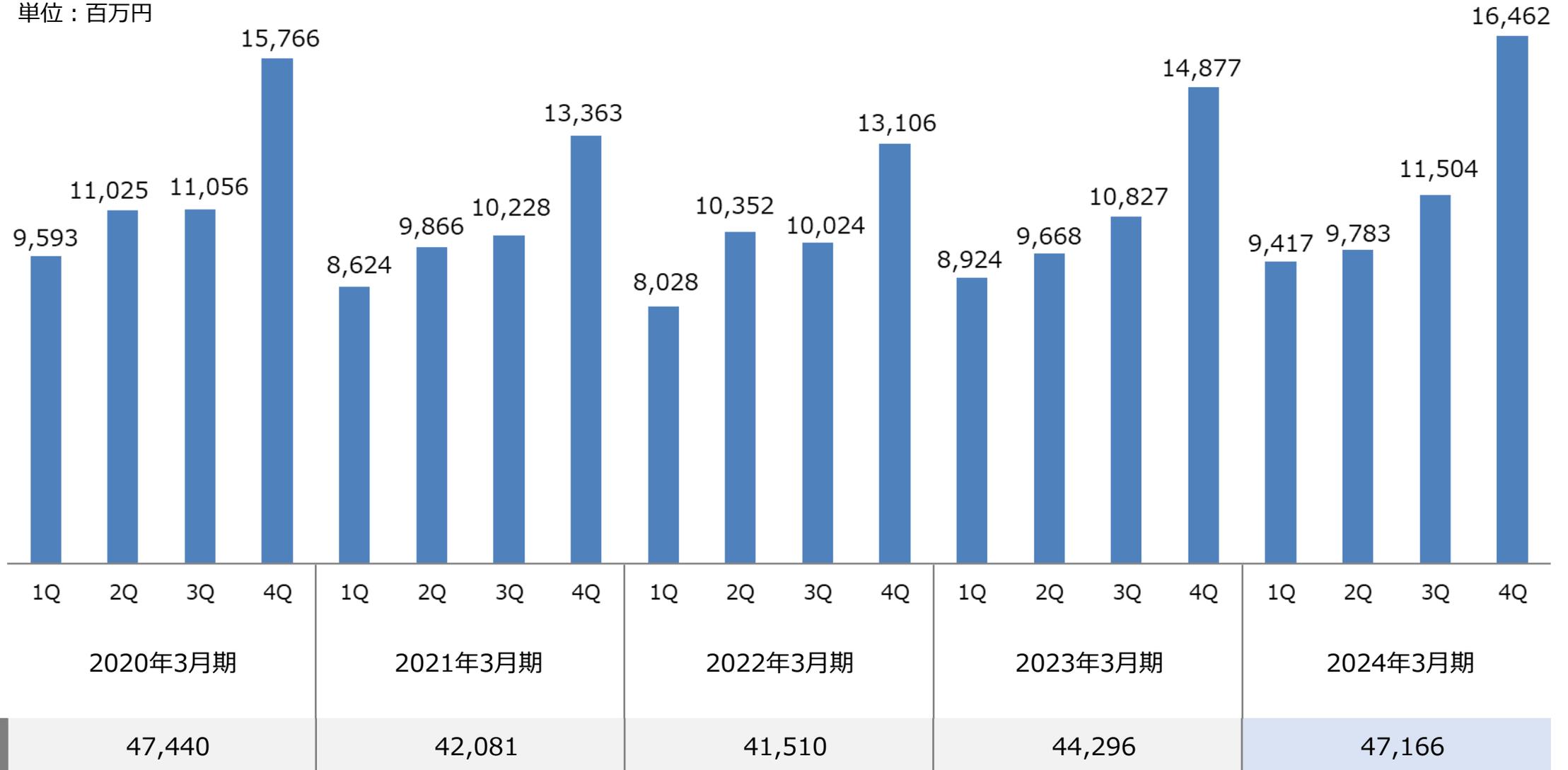
単位：百万円



	船舶港湾	油空圧	流体	防衛・通信	その他
20/3期	233	▲ 223	545	931	464
21/3期	246	▲ 424	647	537	330
22/3期	388	▲ 115	915	312	250
23/3月期	565	▲ 268	527	▲ 94	675
24/3期	1,006	273	733	362	502

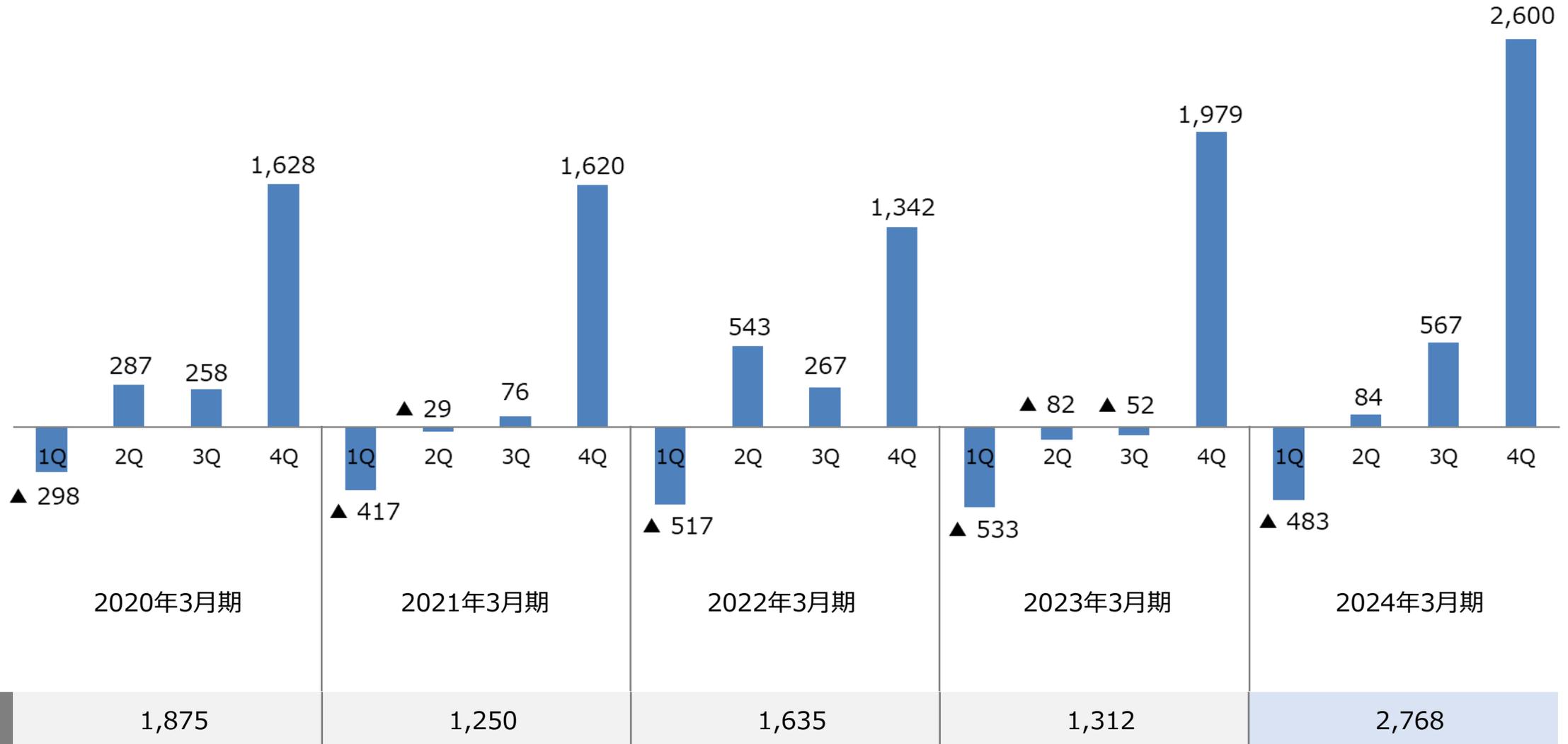
## 四半期 売上高推移

単位：百万円

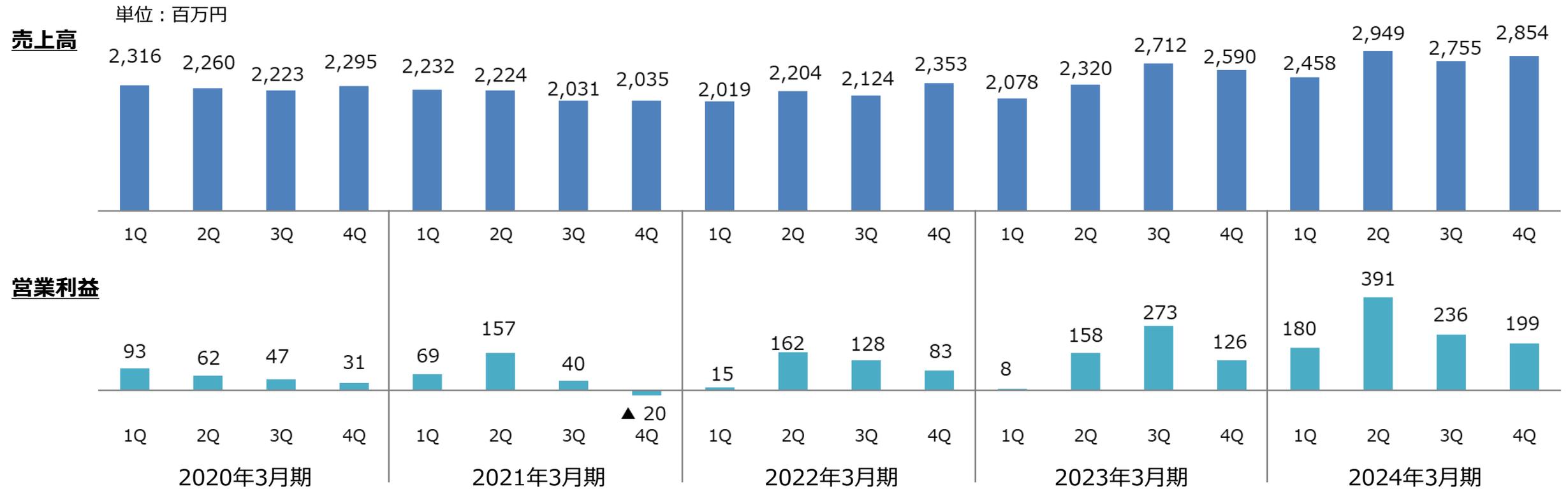


## 四半期 営業利益推移

単位：百万円

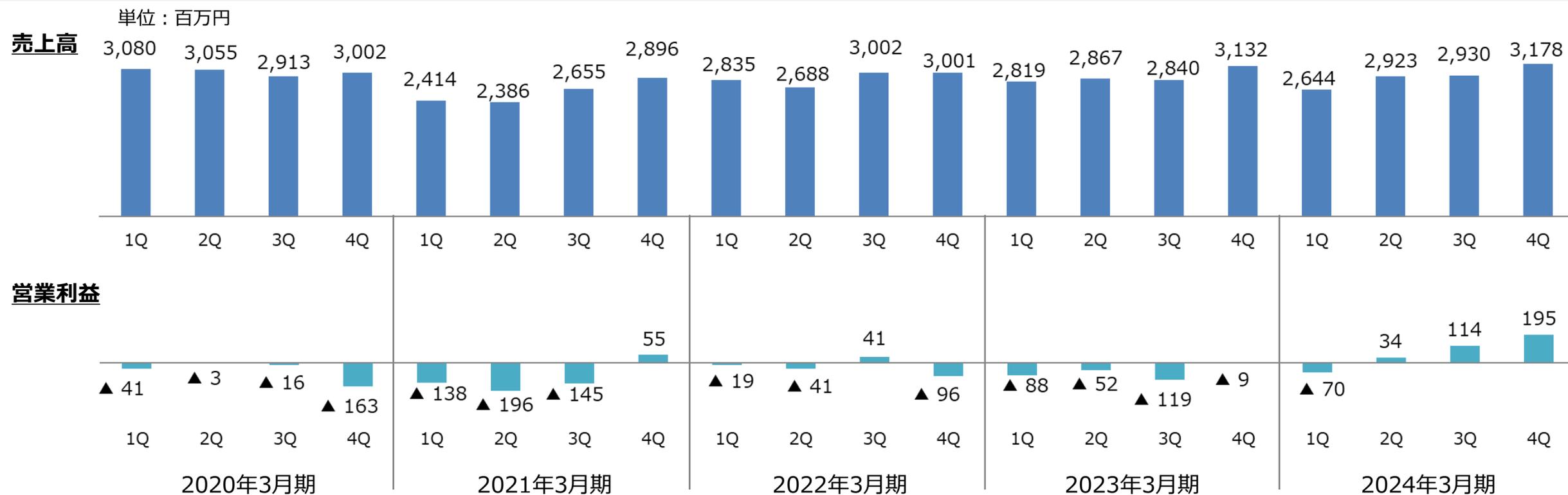


## セグメント別 四半期 売上高・営業利益推移：船舶港湾



	2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期	
	売上高	営業利益								
1Q	2,316	93	2,232	69	2,019	15	2,078	8	2,458	180
2Q	2,260	62	2,224	157	2,204	162	2,320	158	2,949	391
3Q	2,223	47	2,031	40	2,124	128	2,712	273	2,755	236
4Q	2,295	31	2,035	▲20	2,353	83	2,590	126	2,854	199
通期	9,094	233	8,522	246	8,700	388	9,700	565	11,016	1,006

## セグメント別 四半期 売上高・営業利益推移：油空圧

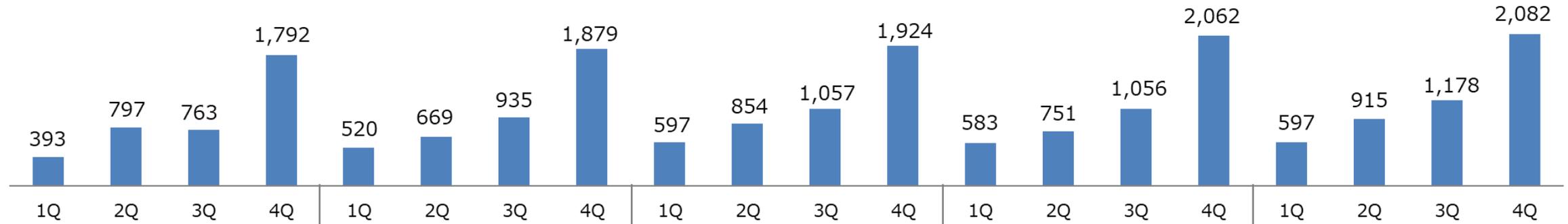


	2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期	
	売上高	営業利益								
1Q	3,080	▲41	2,414	▲138	2,835	▲19	2,819	▲88	2,644	▲70
2Q	3,055	▲3	2,386	▲196	2,688	▲41	2,867	▲52	2,923	34
3Q	2,913	▲16	2,655	▲145	3,002	41	2,840	▲119	2,930	114
4Q	3,002	▲163	2,896	55	3,001	▲96	3,132	▲9	3,178	195
通期	12,050	▲223	10,351	▲424	11,526	▲115	11,658	▲268	11,675	273

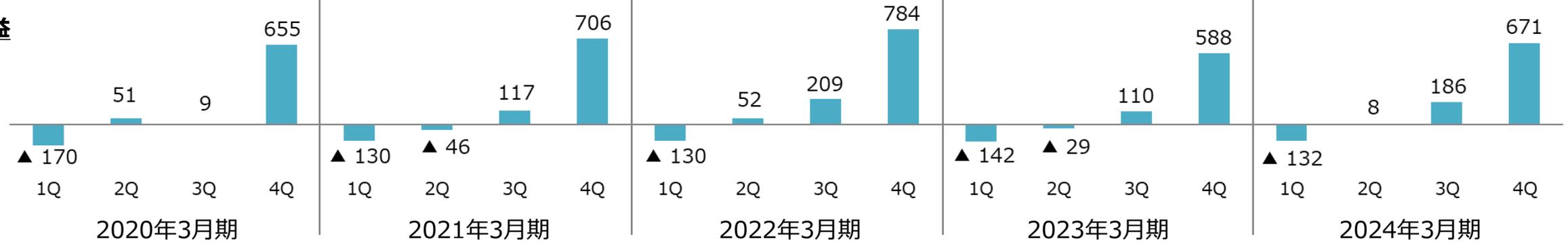
## セグメント別 四半期 売上高・営業利益推移：流体

単位：百万円

### 売上高

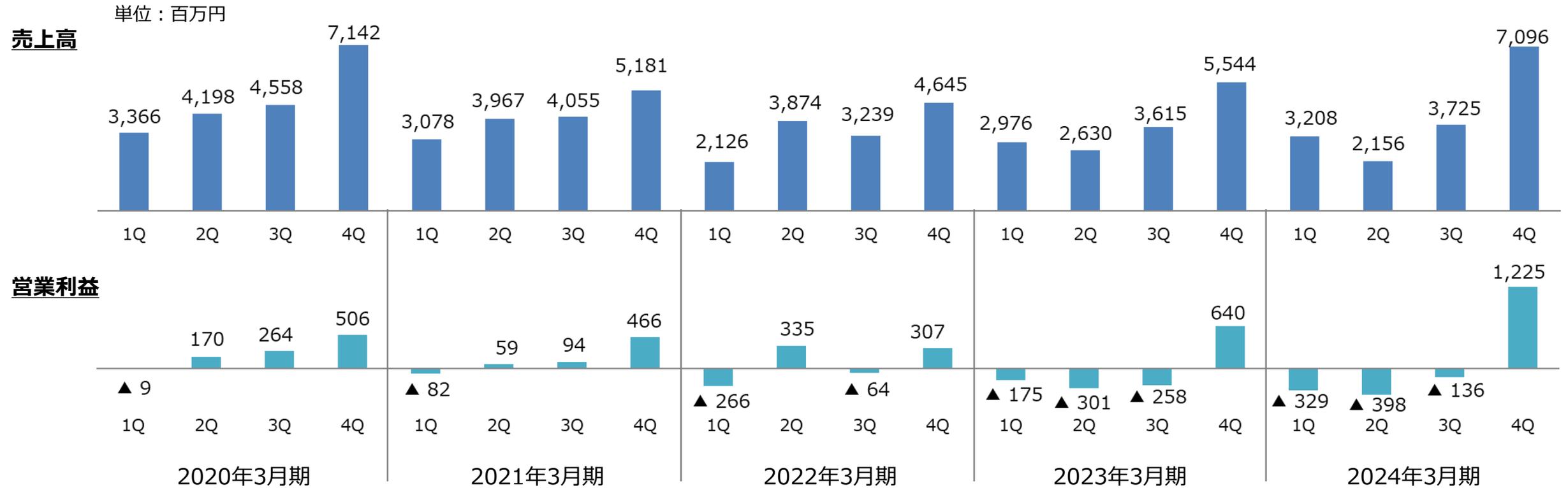


### 営業利益



	2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期	
	売上高	営業利益								
1Q	393	▲170	520	▲130	597	▲130	583	▲142	597	▲132
2Q	797	51	669	▲46	854	52	751	▲29	915	8
3Q	763	9	935	117	1,057	209	1,056	110	1,178	186
4Q	1,792	655	1,879	706	1,924	784	2,062	588	2,082	671
通期	3,745	545	4,003	647	4,432	915	4,452	527	4,772	733

## セグメント別 四半期 売上高・営業利益推移：防衛・通信

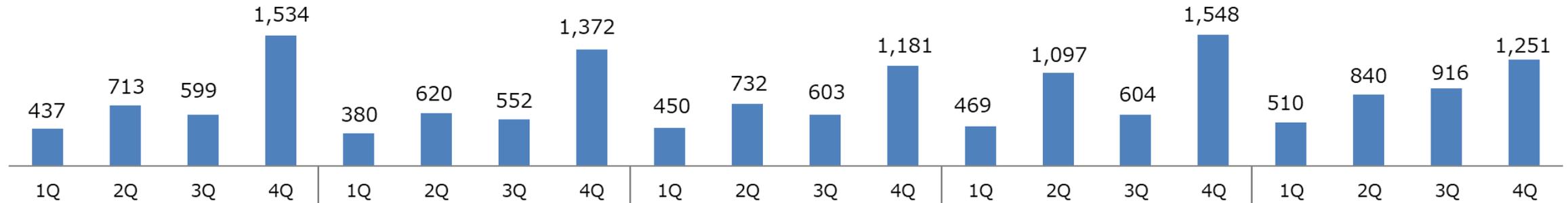


	2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期	
	売上高	営業利益								
1Q	3,366	▲9	3,078	▲82	2,126	▲266	2,976	▲175	3,208	▲329
2Q	4,198	170	3,967	59	3,874	335	2,630	▲301	2,156	▲398
3Q	4,558	264	4,055	94	3,239	▲64	3,615	▲258	3,725	▲136
4Q	7,142	506	5,181	466	4,645	307	5,544	640	7,096	1,225
通期	19,264	931	16,281	537	13,884	312	14,765	▲94	16,185	362

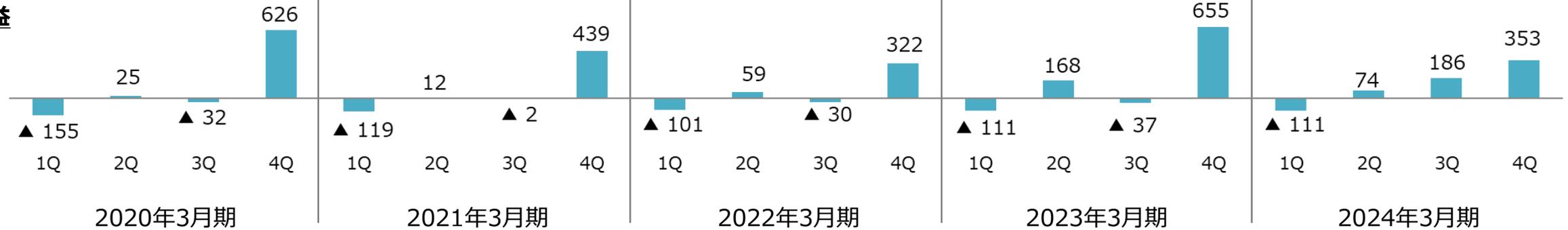
# セグメント別 四半期 売上高・営業利益推移：その他

単位：百万円

## 売上高

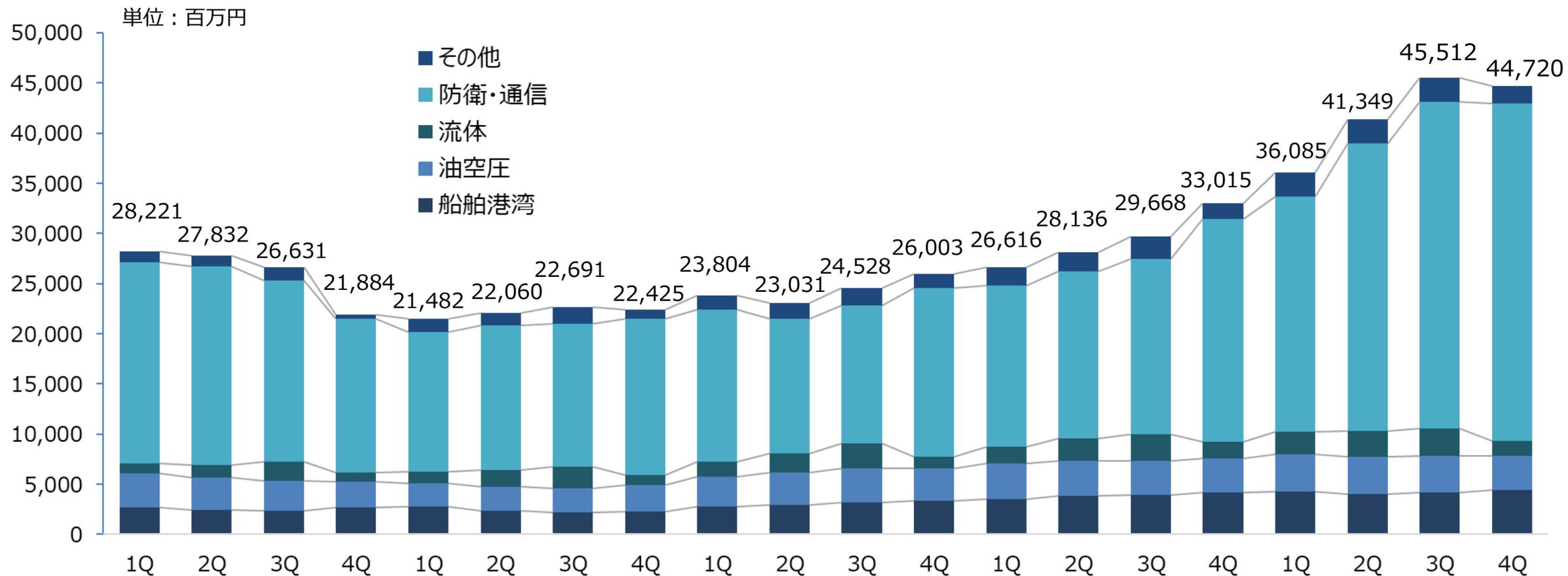


## 営業利益



	2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期	
	売上高	営業利益								
1Q	437	▲155	380	▲119	450	▲101	469	▲111	510	▲111
2Q	713	25	620	12	732	59	1,097	168	840	74
3Q	599	▲32	552	▲2	603	▲30	604	▲37	916	186
4Q	1,534	626	1,372	439	1,181	322	1,548	655	1,251	353
通期	3,283	464	2,924	330	2,966	250	3,718	675	3,517	502

## 四半期 受注残高推移



	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
1Q	28,221	21,482	23,804	26,616	36,085
2Q	27,832	22,060	23,031	28,136	41,349
3Q	26,631	22,691	24,528	29,668	45,512
4Q	21,884	22,425	26,003	33,015	44,720

## セグメント別 四半期 受注残高推移 一覧表

単位：百万円		2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
船舶港湾	1Q	2,671	2,729	2,747	3,502	4,246
	2Q	2,449	2,355	2,923	3,860	4,050
	3Q	2,382	2,161	3,185	3,919	4,190
	4Q	2,676	2,277	3,348	4,164	4,416
油空圧	1Q	3,397	2,400	3,022	3,547	3,713
	2Q	3,186	2,434	3,281	3,458	3,695
	3Q	2,951	2,462	3,370	3,424	3,638
	4Q	2,547	2,659	3,260	3,439	3,399
流体	1Q	1,032	1,124	1,432	1,652	2,239
	2Q	1,312	1,643	1,864	2,207	2,596
	3Q	1,948	2,144	2,488	2,650	2,705
	4Q	963	1,015	1,153	1,593	1,521
防衛・通信	1Q	20,008	13,888	15,182	16,096	23,510
	2Q	19,735	14,389	13,448	16,726	28,598
	3Q	18,063	14,256	13,773	17,497	32,555
	4Q	15,268	15,571	16,775	22,269	33,651
その他	1Q	1,114	1,342	1,421	1,820	2,377
	2Q	1,149	1,239	1,515	1,885	2,410
	3Q	1,286	1,670	1,712	2,179	2,424
	4Q	430	903	1,467	1,550	1,733

## 資料の内容

---

1. 2024年3月期 決算概要
2. 2025年3月期 計画

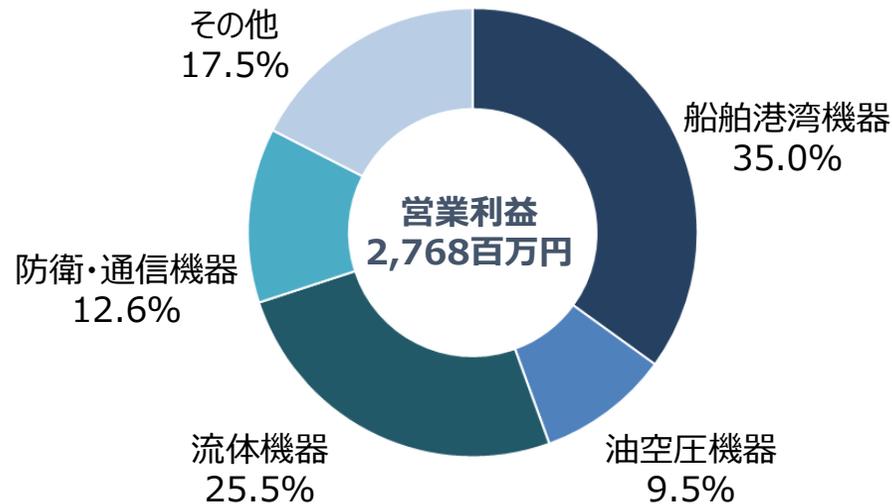
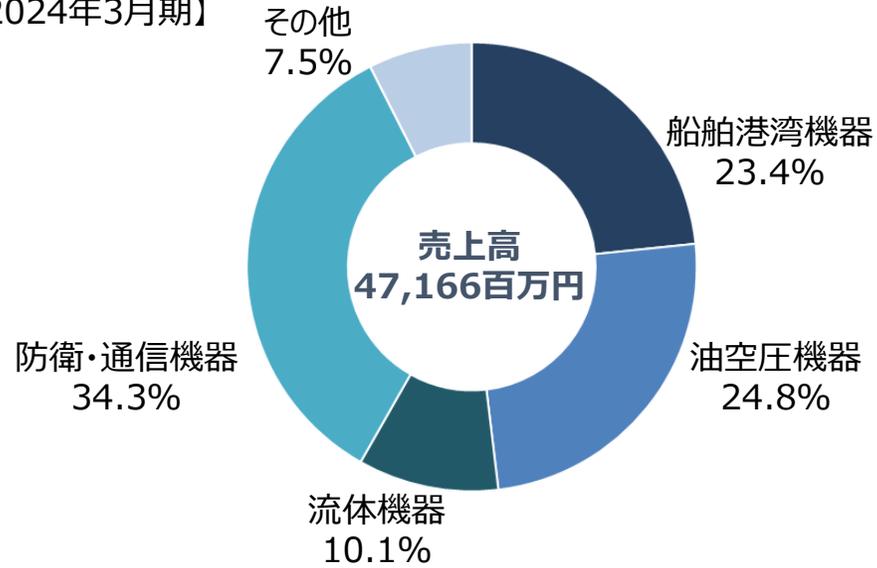
### <ご参考資料>

- 業績推移
- **事業紹介**

## 東京計器グループの主要事業紹介

東京計器グループの事業は4つのセグメント及びその他事業に分かれ、その中に11の事業があります。

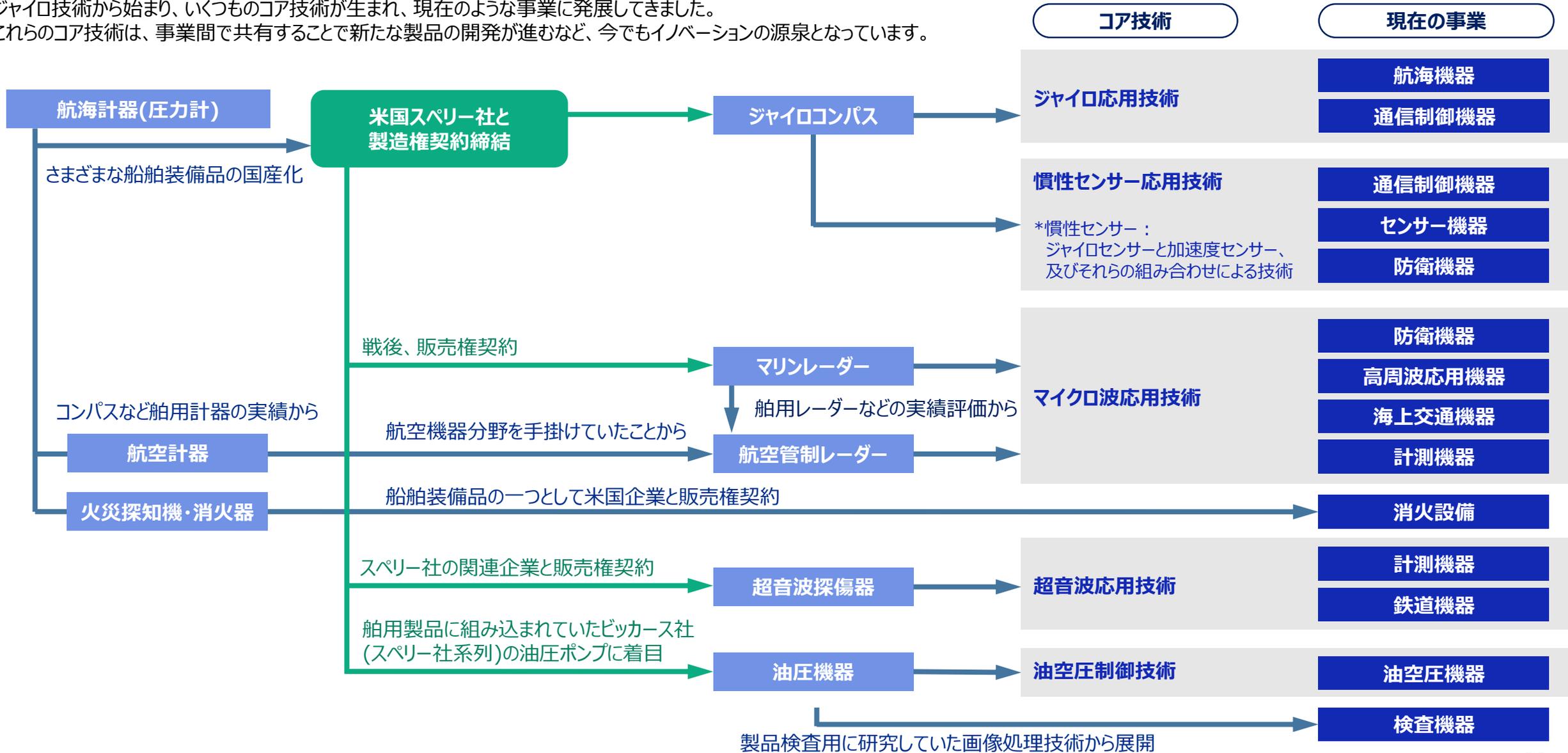
【2024年3月期】



セグメント (4+その他)	事業 (11)
船舶港湾機器事業	■ 航海機器
油空圧機器事業	■ 油空圧機器
流体機器事業	■ 計測機器 ■ 消火設備
防衛・通信機器事業	■ 防衛機器 ■ 海上交通機器 ■ センサー機器 ■ 高周波応用機器 (マイクロ波応用機器) ■ 通信制御機器
その他事業	■ 検査機器 ■ 鉄道機器

# コア技術創出の歴史

東京計器グループの事業の源は、明治時代、航海計器の開発に遡ります。ジャイロ技術から始まり、いくつものコア技術が生まれ、現在のような事業に発展してきました。これらのコア技術は、事業間で共有することで新たな製品の開発が進むなど、今でもイノベーションの源泉となっています。



航海機器	船舶の安全航行、省エネ操船に貢献	業界シェア
<p>航海機器</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>自動操舵など 操縦系統を担う オートパイロット</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>方位を指し示す ジャイロコンパス</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>センサー部に定期交換の 必要な可動部分が無い 光ファイバージャイロ (FOG)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>海図情報を表示するECDIS (電子海図情報表示装置)</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 操船に必要な航海計器をトータルでラインナップし、グローバルに提供。</li> <li>■ 日本で最初にジャイロコンパスやオートパイロット、レーダーの生産を開始した、航海計器のパイオニア。</li> </ul>	<p>ジャイロコンパス・ オートパイロット</p> <p>世界の商船 <b>6割以上</b></p> <p>国内内航船 <b>8割以上</b></p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>「無人運航船の実現に向けた DFFASプロジェクト」</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  <p>「ウインドチャレンジャー プロジェクト」</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ジャイロコンパス、オートパイロットのトップ企業として、無人運航船開発プロジェクトやGHG排出削減に貢献する風力推進船プロジェクトに参画。</li> </ul>	

# 油空圧機器事業

油空圧機器	ものづくり、インフラづくりの現場で活躍	業界シェア
産業機械向け	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>一般産業機械に広く使われる 低騒音定容量形ベーンポンプ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>速度や圧力を自在に比例制御 する電磁切換弁</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>工作機械や一般産業機械の油圧動力源 として広く利用される小形パワーユニット</p> </div> </div> <p>■ 射出成形機、工作機械、自動車製造用ダイカストマシン等に、省エネ・制御性に優れた油空圧機器を提供。</p>	<p>国内プラスチック 射出成形機用 <b>約4割</b></p>
建設機械向け	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>建設機械に使用される 大容量・高速応答カートリッジ弁</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>建設機械用 電気ダイレクト制御ピストンポンプ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>建設機械向けディスプレイ</p> </div> </div> <p>■ 主にクレーン、高所作業車等の特装車向けに油圧製品と駆動を制御する電子機器を提供。</p>	
水素エネルギー活用	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>水素ステーション向け水素圧縮装置</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>分割モジュール式水素圧縮パッケージ</p> </div> </div> <p>■ 水素ステーション向け油圧式水素圧縮装置や分割モジュール式水素圧縮パッケージを提供。</p>	

計測機器	暮らしと人命を守る：水資源の管理や河川防災で生活の安全に貢献	業界シェア
<p>流量・水位 監視</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>上水、農業用水、工業用水の監視用 高精度超音波流量計</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>食品工場や石油タンクなどのプラントでも 活躍する電波レベル計</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 超音波流量計を世界で初めて実用化したパイオニア。</li> <li>■ 超音波流量計は、上下水道や農業用水配管網の流量監視で活躍。</li> </ul>	<p>国内上下水道、 農業用水向け <b>6割以上</b></p>
<p>国土防災</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>河川の水位上昇をいち早く知らせる 危機管理型水位計</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>下水がマンホールから溢れ出ることによる 都市水害の危険を知らせる 溢水対策水位計</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電波レベル計を利用したシステムで、相次ぐ河川氾濫や都市水害から人命を守る。</li> </ul>	
<p>消火設備</p>	<p style="text-align: center;"><b>火災から守る：ガス系消火設備が水濡れ厳禁の施設で活躍</b></p>	
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;"> <p>水・泡消火が適さない印刷機械などを有する工場施設、オフィスビル、 美術館、博物館、立体駐車場などで活躍するガス系消火設備</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 日本で初めて不活性ガス消火設備を手掛けて以来、各種ガス系消火設備で暮らしの安全に貢献。</li> </ul>	

# 防衛・通信機器事業

防衛機器	国防に貢献： マイクロ波応用技術や慣性センサー技術が強み	業界シェア
	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>◀ 写真提供： イカロス出版/赤塚聡</p>  </div> <div style="text-align: center;">   </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p>航空機を取り巻く電波を瞬時に分析し、危険なレーダー照射などの警報を発するレーダー警戒装置</p> <p>GPSなどを利用した方位測定ができない潜水艦などに搭載される高精度のリングレーザージャイロを用いた慣性航法装置</p> <p>航空機の高度、速度などを計算する対気諸元計算装置（ADC）ブルーインパルス機体にも搭載</p> <p>■ 防衛市場向けの航空機搭載用電子機器や艦艇向け航法装置などの開発・生産・修理保守。</p>	
海上交通機器	船の安全航行に貢献：“海の管制塔”ともいえる海上交通システムを提供	
	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>東京湾「海ほたる」に設置された海上監視レーダー</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>全国7か所の港湾に設置された海上交通センターの管制業務を担うVTSシステム</p> </div> <div style="text-align: left;"> <p>*1 AIS : Automatic Identification System 船舶間や船舶と航行援助施設などとの間で情報交換を行うシステム</p> <p>*2 VTS : Vessel Traffic Services 船舶通航業務</p> </div> </div> <p>■ 混雑する海上交通路の管制業務に必要な、「海上監視レーダー」や「AIS*1情報管理装置」といったVTS*2システムを提供。</p> <p>■ 欧州の湾岸や河川向けにもVTS用レーダー納入。</p>	<p>全国海上交通センターのVTSシステム</p> <p><b>100%</b></p>

## 防衛・通信機器事業

センサー機器	慣性センサーや制御技術の組み合わせでスマート農業や防災システムに貢献	業界シェア
 <p>震度測定に不可欠な地震加速度計</p>	 <p>農作業の負担軽減のための農業機械向け直進自動操舵補助装置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ジャイロ技術、慣性センサー、独自のソフトウェア技術が結集したトラクタ直進自動操舵補助装置でスマート農業を推進。</li> <li>■ 気象庁向け地震計に使用される加速度計で国土防災に貢献。</li> </ul>	<p>気象庁向け地震計用加速度計 <b>約8割</b></p>
高周波応用機器	マイクロ波応用技術を駆使し、半導体製造装置部品や宇宙ビジネスなどの先進産業に参入	
 <p>次世代半導体の製造装置などに使用されるソリッドステートマイクロ波電源</p>	 <p>©Synspective Inc. マイクロ波増幅器が搭載された観測衛星（SAR衛星）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ソリッドステートマイクロ波電源を半導体製造装置に搭載することで、半導体の微細化を実現。</li> <li>■ 観測衛星から地表に向けて発するレーダー信号を増幅させるマイクロ波増幅器を提供。</li> </ul>	
通信制御機器	ジャイロセンサー、加速度計、磁気方位センサーなどの技術を放送品質向上に活用	
 <p>ヘリコプターの位置と姿勢方位を絶えず把握のうえ、中継アンテナを常に受信局に向けるよう制御し、途切れなく映像を伝送するアンテナ自動指向装置</p>	 <p>放送局の報道ヘリや、国内の主要なマラソン・駅伝中継などで、中継車に搭載されるカメラ防振装置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 放送局の報道ヘリや中継車に搭載された姿勢制御装置により、安定した映像送信を実現。</li> <li>■ 国内TV局の報道ヘリに搭載されているアンテナ自動指向装置により、空撮映像の確実な送信を実現。</li> </ul>	<p>国内TV局の報道ヘリに搭載されるアンテナ自動指向装置 <b>9割以上</b></p>

## その他事業（検査・鉄道）

検査機器	印刷の品質向上に貢献：高精度な画像処理技術で印刷や素材のトラブルを検出	業界シェア
 <p data-bbox="708 434 1067 539">印刷の不良率の削減と印刷品質の確保を実現する印刷品質検査装置</p>	 <p data-bbox="1615 441 2079 546">フィルム、不織布、金属箔などの無地素材の生産加工不良や異物混入などを検出する素材検査装置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自社開発のチップで、高速リアルタイム画像処理を実現。</li> <li>■ 印刷ミスや異物混入を自動で高速に探知し、作業効率向上や材料のムダ排除を促進。</li> </ul>	<p data-bbox="2147 282 2440 411">軟包材向けグラビア印刷機向け <b>国内トップシェア</b></p> <p data-bbox="2147 472 2461 654">軟包材： プラスチックフィルム、紙、アルミ фольドールなどのような薄い柔軟性のある材料で構成されている包装材</p>
鉄道機器	鉄道の安全運行に貢献：超音波技術を鉄道保線に活用	
 <p data-bbox="379 1160 863 1229">レール内部の傷に対し、超音波探傷による非破壊検査を行うレール探傷車</p>	 <p data-bbox="1047 1160 1577 1266">分岐器内のレールやクロッシングの摩耗量、軌道変位などを同時に測定できる分岐器検査装置</p>  <p data-bbox="1666 1160 2028 1266">複数種の軌道材料の状態を自動で検査・判定する軌道検査省力化システム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ レール探傷器や分岐器検査装置などの保線機材及び保線役務で、鉄道保線業務を支える。</li> </ul>	<p data-bbox="2147 839 2461 1032">JR各社・国内民営鉄道向け 超音波レール探傷車 <b>7割以上</b></p>

## 将来情報に係るご注意事項

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。またこれらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。本資料ご利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。

### 本資料に関するお問い合わせ先

東京計器株式会社 コーポレート・コミュニケーション室

TEL 03-3730-7013

問合せフォーム [https://www.tokyokeiki.jp/form/webform\\_ir.html](https://www.tokyokeiki.jp/form/webform_ir.html)

ホームページ <https://www.tokyokeiki.jp/>